

スローテンポ通信

第 39 号

2020 年 11 月 7 日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町 3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

とちぎを知るための本のコーナー

下野新聞社、随想舎、那須里山舎などの協力で作りました。

そこからのおすすめ 2 冊

○『東武鉄道

伊勢崎線、日光線、亀戸線、大師線、野田線、佐野線、桐生線、小泉線、宇都宮線、鬼怒川線、東上線、越生線

1950～1980 年代の記録』

牧野和人著 アルファベータブックス 2017 年 ☆☆☆☆

日光軌道線は 1968 年に廃線となった。それまでは日光から馬返駅まで路面電車で行き、ケーブルカーで明智平に昇る。そこからは、渋滞の中をイライラ運転することなく、紅葉の中にいろは坂や中禅寺湖、華厳の滝の情景を堪能できた。日光市街を電気機関車に引かれた貨物列車が鋼を積んで走っていた。鉄道を見ることことで、社会の変化が手に取るようにわかります。

○『わたしは石のかげら

もうひとつの田中正造物語』

文:越川栄子 絵:やまなかももこ

随想舎 2018 年 ☆☆☆☆

正造翁が歩くときはいつもズタ袋を携えていた。この絵本は、ズタ袋の中にあつた石の物語です。田中正造の大切にしていたものが小学生にも伝わります。

プロジェクト参加者募集中!

- ・ロブレと小山駅周辺を魅力的にするためにどうするか。
- ・一箱古本市をロブレで定期的開催する。

小山をやさしい街にするには

県別人気度ランキングで栃木県は最下位になった。栃木を知らない人たちのランキングだろうけれど、もっと栃木を知ってもらふ必要がある。

ご当地キャラを創り出したり、特産品を認定して宣伝するというのでは、他県のものまねになってしまう。

人気や広告に頼る考えから抜け出そう。栃木のよさがわかるようにきちんと伝えれば、よいものは支持される。

例えば、栃木の入り口にある小山の駅周辺は、広告や宣伝ばかりで、気の効いた案内がない。小山の人たちは気付かなくても、小山を訪問する人にとっては、とても冷たい。

スローテンポ書店を訪れようとする人が、見つけられずに帰ってしまうことがたびたびある。ようやくたどり着いた人も、途中で何度も人に聞いたと言う。

「駅前ビルロブレの地下にある」とわかっているのに、すんなりたどり着けないのは、どこかに原因がある。

案内がないからだろう。

駅やビルの設計上の動線のまずさは、今さら言っても始まらないが、気の効いた案内があればカバーできる。

その案内がない。改札口を出て見渡しても、「ロブレはこちら」などの案内は一切ない。

改札口からロブレまでの最短ルートは、駅前ビル「バル」3階から連絡通路に出るルートであろうが、案内が一切ない。人から説明されても、表示もなく通路が狭いので不安になる。

連絡口も狭く目立たず、やっと見つけても、そこがロブレへの連絡口だと知らせる表示に親切さが無い。ローマ字のロゴマークだけでは、初めての人にとっては何のマークかわからない。

道路に出て歩き回るか、人にたずねるかしてロブレを見つける人も多い。ところが、一步入ると、そこは1階テナントの商品で占拠されていて、建物の案内が一切ない。ロブレが集合ビルであるという雰囲気ではない。

一階地階は通路や踊り場にまで商品がわんさか並べられ通行を邪魔するし、呼び込みアナウンスが響き渡る。スローテンポ書店を目指していても

何か間違えたと思ってしまう人が多いだろう。

これでは小山駅まで来てもスローテンポ書店までたどり着けないのは当然だ。

案内がないのは、スローテンポ書店に限らず、小山駅周辺の商店とその顧客たちにとって共通する問題だと思われる。魅力ある商品も売っていても、素晴らしいサービスを提供していても、気付いてもらえないというのが今の小山である。

では、どうすればよいのか。

当然、案内を増やせばよい。

ところが、案内を出すには広告料が必要となる。改札口を出て誰もが目に止まるような大きな案内を出すとなると、それなりに負担が大きい。

目先の利益にとらわれ、立場ばかりを主張すると、対立ばかりが生まれ何事も進まない。

例えば、改札口正面の駅ビル前に、「ロブレ連絡口」の大きな案内を共同設置すれば、新しい人の流れをつくり出すことができるだろう。ロブレに向かう客が駅ビル内を通行することは駅ビルにとっても良いはずだ。

案内は広告ではない。

はっきりと区別できるものではないが、広告は宣伝が目的であるのに対し、案内は相手を思いやるサービスである。

広告にはウソもあるから安心できないが、案内は、客や通行人が困らないようにする心遣いであるから、見る人を安心させる。

広告は利益追求の道具だから、場所や大きさによってそれなりに広告料がかさむ。近頃では駅周辺の案内マップにまで、掲載料が必要だという。資本力がものをいい、魅力ある店も資本がなければ成り立たない。

それに対し、案内は、利益よりも客への配慮を大切にする。親切な案内は無言のうちに安心と信頼を生む。

広告ばかりで案内がなければ、人は無意識にも冷たさを感じ、居心地が悪くなる。

これからは、客にやさしい案内をどんどん増やして、居心地のよい小山、親切な小山にしようではありませんか。

(ブログ『うさぎもかめも』より抜粋)



混乱する今だからこそ、本屋に行こう!

スローテンポ書店

小山駅前 ロブレ地階

日本を見つめ、世界を見つめ、自分を見つめる。本があなたを待っています。

オープン: 火~土 13時~19時 (日月祝日休み)

☆ 懇話会 デイバート型ではなく、課題解決型に取り組んでいます。土曜日午後3時~5時、参加無料。

水曜日から土曜日に変更しました。消毒と換気に気をつけております。感染防止距離を確保して話し合います。マスクをつけてご参加ください。

☆ 実用文教室

文章はコミュニケーションのツールです。まず、何を訴えたいのかを確認します。その後、訴えたいことがきちんと伝わるようにお手伝いします。木曜日午後3時~5時。